

平成4年（1992年）

TOP — 国立大学協会の情報 — 事業 — 総会・理事会 — 平成4年（1992年）

▼各年代を選んで下さい

月日	国大協の動き	月日	一般事項
1月	「大学における教員養成—教員養成の現状と将来—」刊行	1月24日	科学技術会議、「新世紀に向けてとるべき科学技術の総合的基本方策について」答申
1月22日	外国学長招致事業により、韓国大学長来日（～31日）		
2月12日	「大学における組織運営の活性化に関する検討項目」について、大学審議会組織運営部会で、意見陳述	2月28日	官房長官、「国家公務員への多様な大学等の出身者からの採用について」閣議で発言
3月11日	「国立大学財政基盤の現状と改善」刊行	3月6日	社会人技術者の再教育推進のための調査研究協力者会議、「リフレッシュ教育推進のために」報告
4月8日	会長・第5常置委員長等、第2回アジア太平洋大学交流機構（UMAP）総会（韓国）に出席	4月1日	第八次定員削減開始（削減数4,093人）
		4月15日	文部省海外留学等斡旋プログラムに関する調査研究協力者会議、「海外留学等斡旋プログラムの望ましい内容等について」報告

5月11日	第2常置委員会、推薦入学に関する問題点等をまとめた「推薦入学について」作成	5月12日	生涯学習審議会、「中間まとめ」公表
6月9日	生涯学習特別委員長、「今後の社会の動向に対応した生涯学習の振興方策について（生涯学習審議会中間まとめ）」についてのヒアリングで意見陳述	6月15日	学術審議会、「21世紀を展望した科学技術の総合的推進方策について」（中間報告）をまとめる
6月16日 ～17日	<p>第90回総会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後援について（報告） 〔[1]シンポジウム"21世紀の大学と日本の科学技術を考える"（産経新聞社主催）、[2]全日本留学生代表者フォーラム名古屋（（財）名古屋国際センター主催）、[2]IAUP（世界大学総長協会）第10回年次大会（同大会日本委員会主催）〕 ・大学入試センターからの報告 ・当面する諸問題（18歳人口の減少に伴う取り組みや大学における教育の質の問題、週休2日制と図書館などについて） ・その他（[1]週休2日制の実施、[2]教官の待遇改善等について） 		
6月24日	入試に関する問題について、全国高等学校校長協会と懇談		
7月6日	「21世紀を展望した科学技術の総合的推進方策について（学術審議会中間報告）」について、意見提出	7月1日	国立学校財務センター発足
7月8日	「国立大学教官等の待遇改善に関する要望書」を文部大臣、人事院総裁へ提出		

7月16日	第1常置委員長、教育上の例外措置に関する調査研究協力者会議に出席し意見陳述		
7月19日	第5常置委員会所属大学長等UMAP試行計画に基づき、豪州12大学を訪問(～8月1日)	7月23日	学術審議会、「21世紀を展望した学術研究の総合的推進方策について」答申
7月29日	生涯学習審議会の、「今後の社会の動向に対応した生涯学習の振興方策について」について意見陳述	7月29日	生涯学習審議会の、「今後の社会の動向に対応した生涯学習の振興方策について」を答申
10月7日	「人事院勧告の取扱に関する要望書」を文部・大蔵各省、総務庁へ提出		
11月11日 ～12日	第91回総会開催 ・入試について ・当面の諸問題（大学設置基準の改正に伴う大学の対応、教育研究環境の改善、入試制度の検討などについて）		
12月4日	「国立大学の学生納付金の改定について（要望）」を文部・大蔵各大臣、総務庁長官へ提出		
12月18日	平成5年度予算編成について文部省と懇談		
12月24日	全豪州大学長協会と日豪学術交流協定締結		